

STOP 糖尿病

2022年10月17日発行 糖尿病ケアチーム通信 第6号

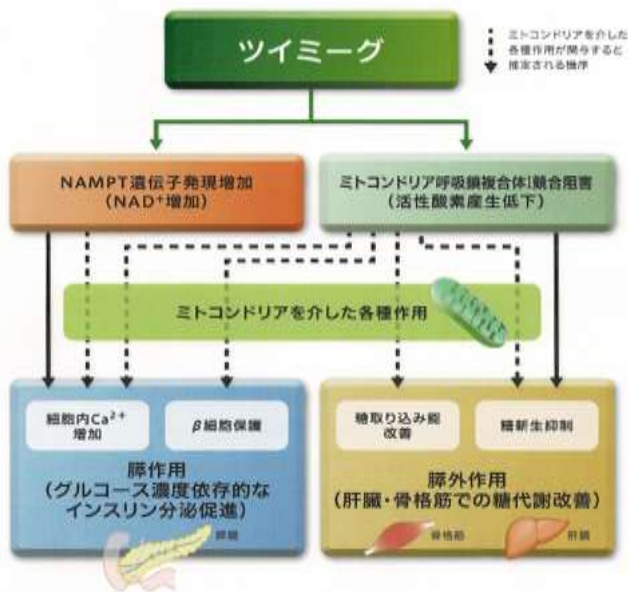
経口血糖降下薬：ツイミーグ錠とリベルサス錠



ツイミーグ錠（成分名：イメグリミン）は、2021年9月発売の新しい作用機序の

経口血糖降下薬で、**2022年9月1日投与日数制限解除**となり**長期処方可能**となりました。

ミトコンドリア機能改善薬で、NAMPT（NAD⁺合成系酵素）遺伝子、ミトコンドリア呼吸鎖複合体Iへの作用を介して**膵β細胞におけるグルコース濃度依存的なインスリン分泌を促す膵作用**と、**肝臓・骨格筋での糖代謝を改善する膵外作用（糖新生抑制・糖取り込み能改善）**という**2つのメカニズム**で血糖降下を示します。これらの作用にはミトコンドリアを介した各種作用が関係していると推定されます。



○適応：2型糖尿病

○用法及び用量

通常、成人には**1回1000mgを1日2回朝、夕**に経口投与する

○注意事項

ツイミーグと**ピグアナイド系薬剤**は作用機序の一部が共通している可能性があるため、併用した場合**消化器症状が多く現れる傾向あり**（特に併用初期）

○副作用

胃腸障害（悪心、下痢、便秘）

リベルサス錠

（成分名：セマグルチド）は、2021年2月に発売され、2021年12月に長期処方可能となったGLP-1受容体作動薬です。

GLP-1はインクレチンと呼ばれるホルモンのひとつであり、膵β細胞上のGLP-1受容体に結合し血糖依存的にインスリン分泌を促進します。また、膵α細胞からのグルカゴンの分泌を抑制します。GLP-1受容体作動薬は内因性のGLP-1と同様に膵β細胞上のGLP-1受容体に結合し、インスリン分泌を促進します。リベルサス錠は**食事や服用する際の飲水量によって薬剤の吸収に影響を及ぼす**ため、服用には注意が必要です。

○適応：2型糖尿病

○用法及び用量

通常、成人には1日1回7mgを維持用量として経口投与する。ただし、1日1回3mgから開始し、4週間以上投与した後、1日1回7mgに増量する。患者の状態に応じて適宜増減するが、1日1回7mgを4週間投与しても効果不十分な場合には1日1回14mgに増量することができる。

○服用方法・注意事項

本剤の吸収は胃の内容物により低下するため、**1日の最初の食事又は飲水の前に空腹の状態**でコップ約半分の**水（約120mL以下）**とともに服用する。

服用時及び服用後少なくとも30分は、飲食及び他の薬剤の経口摂取を避けること。分割・粉砕及び噛み砕いて服用してはならない。

